

視神経脊髄炎患者の治療指標の開発研究

1. 研究の対象

2007 年以降に大阪急性期・総合医療センター脳神経内科で治療されたこのある視神経脊髄炎 (NMOSD) の方

2. 研究目的・方法

視神経脊髄炎 (NMOSD) における疾患活動性の評価指標及び治療評価指標の開発を目指すことを目的としています。本研究では診療で得られた画像検査や血液・髄液検査を含めた臨床情報を利用いたします。また、診療で採取された血液・髄液の残余検体を利用いたします。これらの検体を用いて上記の情報と治療も含めた経過を評価し、NMOSD における疾患活動性の評価指標及び治療評価指標の開発を目指します。

研究期間：研究機関の長の許可日 ~ 2029 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2023 年 8 月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、血液・髄液検査結果、画像検査（頭部 MRI、脊髄 MRI）、等

試料：血液、髄液

4. 外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織（利用する者の範囲）

北海道医療センター 脳神経内科

富山大学 神経内科 脳神経内科

大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科

市立豊中病院 脳神経内科

市立東大阪医療センター 脳神経内科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪急性期・総合医療センター 脳神経内科

研究責任者：坂口 学

相談窓口：清水 幹人

連絡先：06 - 6692 - 1201

研究代表者：

大阪大学医学部附属病院 神経内科・脳卒中科 奥野 龍禎